



発行：七里南地域日本共産党後援会

連絡先 日本共産党蓮沼事務所 見沼区蓮沼471
TEL (685)6240 FAX (747)8525
発行責任者 高橋 博 部内資料



あわせて、岸田政権と
自民・公明・維新・国民
がすすめる大軍拡やマイ
ナカードの強制と保険証
の廃止などの暴走に、
「埼玉から
厳しい審判を下そう」との訴
えも、党派をこえて共感が広が
りました。選挙戦のなかで、メ
ディアのアンケートに大野知事
が「憲法9条の改正に賛成」
「原発再稼働に賛成」と答えた
ことも、県民のみなさんに大き
な衝撃をあげました。
県民のみなさんが望む「県民
が主人公」の県政を考えたとき、
日本共産党としてこの選挙戦に
候補者を擁立してたたかったこ
との判断は正しかったと確信し
ています。
柴岡ゆうまと日本共産党は、
掲げた政策の実現めざし、県民
のみなさん
と力をあわ
せて、「何
よりも命・
くらしを再
優先する県
政」めざし
て奮闘する
決意です。

6日投開票の埼玉県知事選挙
で、日本共産党の柴岡ゆうま候
補は健闘しましたが及びません
でした。みなさんのご支援・ご
協力に感謝申し上げます。
日本共産党は、4年前、当時
の安倍政権が立憲主義を破壊し、
県議会では自民党県議団が横暴
を重ねるもとで、「自民党県政
の復活は許さない」「民主的な
県政を」との立場から大野元裕
氏を自主支援しました。しかし、
大野知事が自民党や公明党、維
新の会の支援をうけ、政策的に
も自民党と一体となる変化を遂
げたことをふまえ、急遽、日本

埼玉県知事選 オール与党化の流れと対決 柴岡ゆうま候補 健闘 公約実現に全力をつくします

共産党として柴岡ゆうま候補者
を擁立してたたかいました。
告示目前の表明となりました
が、「自民・公明相乗りの冷た
い県政から、県民の願いに心寄
せた県政へ転換を」「生きるこ
とを励ます政治を」との訴えは、
県民のみなさんに共感を広げま
した。とくに生活の厳しさを訴
える人たちに追い打ちをかける
国保税の引き上げや水道料引き
上げの動きをストップさせ、子
ども医療費助成制度の拡充や学
校給食費の無償化をめざすなど
の政策はたしかな共感を広げま
した。

候補者	所属	得票数	得票率
大野もとひろ	無所属	1,138,973	80.2%
柴岡ゆうま	日本共産党	183,692	12.9%
大沢 敏雄	無所属	97,252	6.8%

ウクライナに連帯 「改憲許すな！守ろう9条」

七里南地域スタンディング95回目



8月3日（木）真夏の太陽の下、七
里南地域から7人が参加して毎月3日
のスタンディングをしました。今回
も多くの車が行きかい、県知事選も
コロナも何事もないかのように10分
間が過ぎました。「平和が一番。」「NO WAR!」の
思いを込めました。今回で95回目になりますが、闘い
はまだまだ続きそうです。
次回は、9月3日（日）午後1時から10分間、大谷・
元野州ソバ屋前の路上です。ぜひ、ご参加下さい。

染谷・常泉寺で「平和の波」の鐘つき

8月6日ヒロシマデーに「平和の波」行動を染谷の常泉
寺さんのご厚意で鐘つきとして行いました。「平和の波」
行動は2日から9日ナガサキデーの間に世界中で核兵器廃
絶の様々な行動を草の根でするものです。「常泉寺に
『広島と長崎の火』を永遠に灯す会」とさいたま市原水
協の共催で子どもさんを含む17名の参加で行いました。
被爆者の方の「生きる」という願いと「平和」の願いを
込めて鐘の音が千羽鶴となって羽ばたいて遠くまで広が



9月議会が始ります



市議会議員 とば めぐみ

9月議会は決算議会。2022年度、市民が収めた税金を市がどう使ったかをチェックする議会。物価高騰で暮らしも営業も追い詰められる中でそれを支える市政となっていたかどうかを問う議会でもあります。

本会議代表（一般）質問に立つのは私と南区の金子議員。来年度全校で運用開始のため1月からテスト運用が始まっているスクールダッシュボードの問題

点、市役所移転を決めた本市ですが市民に直結する10ある区役所の機能は強化されているのか、原水爆禁止世界大会で核廃絶に向けて日本政府の姿勢を厳しく質した広島長崎の平和宣言を本市はどう応援するのか、来年度施行予定の「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」や「建設業界の時間外労働の上限規制（週休2日制）」、そのほか七里駅北側の桜、宮ヶ谷塔の「と畜場」「道の駅」の問題、法改正後激増した無料低額宿泊所、遅すぎる介護認定等についてたどいま質問のために念入りに準備中です。日程が決まったらお知らせしますのでは是非傍聴にお出かけください。

「広島・長崎の火」を 囲むつどい

広島・長崎に原子爆弾が投下されて78年。被爆者の平均年齢が85歳に達し田中熙巳さんも91歳になりました。「核兵器廃絶は究極の目標ではなく、国際情勢が複雑で不安定な状況だからこそ、今すぐの課題です。人類の滅亡が危ぶまれる今、核廃絶は自分自身の問題だ」と田中さんは語ります。核兵器のない世界へさいたま市から活動を強めましょう。

◇9月3日(日) 13:00~16:00

◇ 染谷・常泉寺本堂

* 語り継ぐつどい

田中熙巳さん

(日本原水爆被害者団体協議会代表委員)

* 歌と文化のつどい

※参加協力券 500円(献花代含む)

さいたま・常泉寺に「広島・長崎の火」を永遠に灯す会

マルクスは書いています。「大洪水よ、わが亡きあとに來たれ!...これがすべての資本家およびすべての資本家国民のスローガンである。資本は、社会によって強制されるのでなければ労働者の健康と寿命にたいし、なんらの顧慮も払わない」(資本論第1巻第8章)▼「わが亡きあと」ではなく、すでに私たちは、大洪水、その一方で水不足、大規模な山火事を目にし、灼熱の夏を体感しています。大量の二

わが亡きあとに 洪水は来たれ

酸化炭素の排出、森林伐採や資源の浪費など、利潤追求のための企業行動が、地球環境の破壊と気候危機を招いています▼人類は、自然に働きかけ、自然を加工して、生活に有用なものを作り出し、生産能力を高め、社会を発展させてきました。資本主義社会になって、生産力は飛躍的に高まりましたが、一方で、

民主主義否定の馬場発言は許せない

日本維新の会の馬場伸幸代表がインターネット番組で「共産党は日本からなくなったらいい政党」と発言し、批判を浴びています。他の党の政治的立場や政策を批判する権利があるのは当然ですが、政党の存在そのものを否定した馬場氏の発言は、そのような政党間の論争とは全く次元の異なる民主主義の大原則を否定する暴論です。日本共産党に対する攻撃にとどまらず、日本の民主主義の根幹を揺るがす大問題として、批判の声が広がっています。

「朝日」での法政大学大学院の白鳥浩教授のコメント、「民主主義をどう思っているのか」(25日の文化放送「大竹まこと ゴールデンラジオ!」での大竹氏の発言)、「民主主義そのものを否定する危うさに黙っていないはならない」(立憲民主党の原口一博元総務相のツイッタート投稿)、「かつてファシストは、反対する勢力を攻撃・排除し、侵略戦争に突き進みました。今回の発言は、民主主義を壊し、戦争につながる道です」(28日「赤旗」での「総がかり行動実行委員会」高田健共同代表のコメント) 日本共産党の小池晃書記局長

さまざまな歪みを生み出しました。目の前の「儲け」が最優先されることで、商品が過剰に生産される浪費社会が広がり、公害が垂れ流され、原発の事故で人々の生活が脅かされました▼最大の浪費は兵器の生産です。世界の軍事費が300兆円にも達する一方で、8億人以上が飢餓状態にさらされています。「軍事費を削って暮らしにまわせ」は、地球を救う天の声ではないでしょうか。(S)

仕事・暮らしの悩み、どんなことでもご相談ください

日本共産党蓮沼生活相談所

電話 (685) 6240 FAX (747) 8525

【無料生活相談日】

毎週火曜日 午後1時~4時

お急ぎのときは、

TEL(641)1561 まで